

和歌山縣報

第千百十四號

明治四十四年十月十二日

○告示

○和歌山縣告示第三百四十八號

土地收用法第九條ニ依リ輕便鐵道敷設事業準備ノ爲左記ノ土地立入測量ヲ許可セリ

明治四十四年十月十二日

和歌山縣知事 川村竹治

記

一起業者 和歌山市南細工町 岡由巳

一立入ルヘキ土地ノ區域 海草郡加太町一圓
以上

○和歌山縣告示第三百四十九號

株式會社紀伊常設家畜市場ニ付家畜市場法第七條ノ區域及期間左ノ通指定ス

明治四十四年十月十二日

和歌山縣知事 川村竹治

記

一區域 池田村、田中村、上岩出村、岩出町、根來村、山崎村、小倉村、丸稻村、西貴志村、東貴志村、中貴志村、調月村、安樂川村、奥安樂川村、龍門村、麻生津村、名手村、上名手村、川原村、王子村、狩宿村、粉河町、長田村

一期間 開催日ノ前後各三日間

○和歌山縣告示第三百五十號

北海道國有未開地ニシテ賣拂又ハ貸付地ヲ設定シタル箇所左記ノ通ナル旨北海道廳長官ヨリ通知
アヲケリ

明治四十四年十月十二日

和歌山縣知事 川村 竹治

○北海道廳告示第六百五十九號

明治四十四年^六月北海道廳告示第四百三十三號賣貸地天埴國中川郡下名寄村字ニウブ區畫地續十町步ヲ取消ス

明治四十四年八月二十八日

北海道廳長官 石原 健 三

○北海道廳告示第六百六十號

北海道國有未開地處分法第二條第四條及第五條ニ依ル賣拂貸付スヘキ土地左ノ如シ但シ圖面ハ北海道廳及所轄支廳ニ備置ス

明治四十四年八月二十九日

北海道廳長官 石原 健 三

賣拂又ハ貸付地

上川支廳管内(區畫地)

國 郡 町村 大字 區 畫 地 名 概算地積
膽振 勇拂 占冠 シムカブ 二二〇六二六歩

釧路支廳管内 釧路 白糠 白糠 上茶路 一〇、七、〇〇〇

○北海道廳告示第六百六十四號

北海道國有未開地處分法第二條及第四條第五條ニ依リ賣拂貸付スヘキ土地左ノ如シ但シ圖面ハ北海道廳及所轄支廳ニ備置ス

明治四十四年九月二日

北海道廳長官 石原健三

賣拂又ハ貸付地

上川支廳管内(區畫地)

國 郡 町村 大字 區 畫 地 名 概算地積
天塩 上川 劔淵 ヲオツメ 三〇、四、一六歩

○北海道廳告示第六百七十九號

明治四十一年七月北海道廳告示第四百九號賣貸公示地根室國標津郡標津村標津原野二千八百五十九町一反七畝五歩ノ内二千二百五十二町六段九畝十歩ヲ北海道國有未開地處分法第三條ニ依ル特定地ニ變更ス

明治四十四年九月八日

北海道廳長官 石原健三

○北海道廳告示第六百八十五號

明治四十四年八月北海道廳告示第六百四十九號賣貸公示地十勝國上川郡人舞村上佐幌原野三十

二町八段三畝十歩ハ特定地ニ付取消ス

明治四十四年九月十日

北海道廳長官 石原健三

○和歌山縣告示第三百五十一號

西牟婁郡東富田村大字富田二百三十八番地

開業産婆

柏木ひさ

右ノ者今般婚姻ノ旨ヲ以テ訂正願出ニ依リ左ノ通本日和歌山縣産婆名簿ヲ訂正ス

明治四十四年十月十二日

和歌山縣知事 川村竹治

西牟婁郡南富田村大字中八十八番地

大網ひさ

○ 辭 令

○明治四十四年十月七日

任和歌山縣那賀郡書記

東牟婁郡書記

清原

清

給月俸拾八圓

○ 町 村 吏 員 ノ 異 動

○明治四十四年十月九日認可

伊都郡笠田村長

蒲

幹太郎

○明治四十四年十月十日認可

那賀郡長田村助役
海草郡西山東村長

清原英三
吉本敏太郎

○ 觀 象

自十月七日至十月九日氣氣

(和歌山測候所觀測)

種 目	十 月 七 日		十 月 八 日		十 月 九 日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六三耗三	七六五耗九	七五八耗五	七五八耗七	七五九耗〇	七五八耗七
平均氣溫	一九度六	一八度八	一九度四	一八度九	二〇度三	一九度二
最高氣溫	二三度三	二五度四	二〇度一	二二度五	二三度八	二三度二
最低象溫	一五度六	一二度一	一七度九	一五度四	一八度〇	一五度〇
最多風向	北東	南四	北西	北四	北四	西北四
平均風力	一米八	二米一	一米一	一米九	一米一	三米九
天 氣	曇	晴	雨	雨	曇	半晴
降水量			三三耗六	三〇耗八	一耗五	〇耗四
記事雜象			終日降雨	終日降雨	曉間并夜間微雨	曉間細雨

明治四十四年十月十一日印刷
 明治四十四年十月十二日發行
 (每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事官房

印刷所 和歌山市北休實町六番地 宗七
 印刷所 和歌山市北休實町六番地 宗七